

【建造物部門】受賞作品

清鶴酒造



黒壁と焼杉、横長丸形の虫籠窓、繊細な格子の意匠などが印象的な光景

【左下】酒屋のロゴになっている3つの蔵



所在地／富田町6丁目

<講評>

清鶴酒造は江戸期に隆盛を極めた富田酒を今も作り続ける蔵元の一つである。旧来の細い丁字型の街路に面して、南側に繊細な格子と黒壁が印象的な主屋、北側と東側に焼杉壁の蔵があり、複数の建物で構成される貴重な街路景観である。東側の蔵は会社のシンボルマークにもなっている3つ並びの蔵で、妻側が見える北からの景観も印象的である。平成30年の災害により北側の蔵は改修を余儀なくされたが、景観に配慮したものとなっている。

(選考部会委員 橋寺 知子)

※第1回高槻市景観賞（令和元年度）について紹介しているホームページはこちら
<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/kakuka/toshi/toshiduk/gyomuannai/keikankeikakuto/takatsukishikeikansyou/1572596682711.html>